



龍門滝



かじき

広報

人口・世帯の動き

(平成6年10月1日現在)

総人口23,549人(40)	出生 24人
男 11,004人(19)	死亡 16人
女 12,545人(21)	転入 91人
世帯数 8,596戸(19)	転出 59人

●()内は前月との比較●

題字 宇都宮町長

人間ピラミッド

五人目がゆつくりと立ち上がり、両手を横にいっぱい広げた——人間ピラミッドの出来上がりである。その途

端、万雷の拍手が秋空に映える蔵王岳をふるわせた。

運動会の種目は時代に合わせるいろいろな変わり、棒倒し

や騎馬戦の荒い競技は消えたと、これだけは呼び方を変えても残っていた。男子生徒全員による壮観な光景に、思わ

ず熱いものがこみ上げた。一人ひとりが歯を食いしばって支えるピラミッド。それは

突き詰ると、人間社会そのものといえる。やがて、生徒たちに社会というものが見えてきたとき、きつとそのときの思いが蘇ることだろう。



やがて、ドサッとくずれると思うと……

平成6年

10

月号

今月のページ

- ☆犬のフン…2頁 ☆町長選挙・かじっガラス…3頁
- ☆吉原橋が完成…4頁 ☆ふるさとづくり賞…5頁
- ☆アンさん大忙し…6頁 ☆文之和尚…7頁 ☆保健婦だより…8～9頁 ☆アンさんの英会話教室…10頁
- ☆加治木文化財ウォッチング…11頁 ☆おしらせ…12頁

犬の散歩は

(シヨベル) (ビニール袋) を持って!



犬のフンをほったらかしているのは

だれですか……あなたですか？

**犬のフンは飼主の責任です
苦情や投書が殺倒！**

犬を飼っているみなさん、犬は飼ってもいいのですが、人に迷惑をかけるようによく管理してください。面倒をみれない人に犬を飼う資格はありません。

最近よく、犬のフンの放つたらかしや放し飼いのことで、役場に苦情が舞い込んできます。主に電話や投書ですが、たまには怒鳴り込んで来る方もあり、職員も頭を抱えている状態です。

最近の投書で、木田にお住まいの六十四歳の方から、「ジョギング中に犬のフンを踏んだ。行政としてなにか手を打ってほしい」と

いうのがありましたが、行政としては罰則をもうける条例を制定する手段がありますが、そこまでののは加治木町民としての誇りが許しません。

これはモラルの問題です。ゴミ問題でモラルのことを取り上げましたが、少しずつ治まってきました。犬のフンもゴミの一種です。みなさん、家族で子どもさんも一緒に、犬の問題を話し合ってみてください。犬も家族の一員なのです。しつけが大事なことを子どもに教える絶好のチャンスではありませんか。

後始末をしない人に犬を飼う資格はありません。

町 美 展

●11月11日～14日

●福祉センター



ママさんぶりを拝見!

11月27日は 加治木町長選挙の日です。

この子らの 未来を託す
大事な一票

棄権をしないでネ!

告示

11月22日



▼東京荻窪
日の出街で、
小料理屋「さ
くらじま」を
経営する加治
木町高井田出
身の猪目妙子

さん。開店したのは三年前。カラオケのない落ち着いた雰囲気と、鹿児島のおふくろの味が売り物である。十二、三人ですぐ満席になる小さな店だが、のれんをくぐるお客さんは、猪目さんの心あたたまる持てなしに、大きな安心感を得ることができ。信頼と思いやりあってこそこの商売、常連さんはそんな猪目さんの気持ちを知りすぎるぐらい知っているのである。

▼猪目さんの東京暮らしは長い。二十五年間、看護婦として働いてきたが、大都会の一人暮らしは切なくさみしいものである。そんな思いを振り払うように長い病院勤務に別れを告げると、まったく新しい世界、飲食業の道へと進んだ。

根が田舎育ちで純情である。くつつくの性根と、高井田の母に教わった秘伝の家庭料理はすぐ客のハートをとらえた。東京に住む人の大半は地方出身者で、「おふくろの味とふるさと」に飢えている。彼女のそんな姿に田舎の母を、ふるさとの山や川をダブらせているのに違

いない。今、彼女は都会のオアシスになろうとしている。彼女の賑やかな雰囲気、田舎から出てきて、東京砂漠で渴ききつた人たちの心を癒やしてくれるのだ。独身の彼女には、歳は上でもお客さんはみんな子供みたいなものなのだろう。

▼猪目さんはふるさと鹿児島を、こよなく愛している。都会に住んではじめてわかるふるさとの味。店には鹿児島観光ポスターが所狭しと貼られ、「薩摩大使」として鹿児島観光の一役買っている。南日本新聞にもその様子が掲載され、店内での口コミも忙しい。それは鹿児島を愛していればこそ出来る事であり、なまじテレビのコマーシャルより効果がある。

その猪目さんが十月八日、久しぶりに鹿児島を踏んだ。それも店の常連さんを十五人引き連れての帰郷で、すばらしい鹿児島をみんなに見せたいとの一念で計画した南国観光ツアーである。鹿児島空港には三十二年前の加治木中学校時代の同級生がおおぜい待ち受けていた。今では一様にシワを刻む懐かし

久しぶりの帰郷に感激……

薩摩大使として鹿児島をPR
東京荻窪で小料理屋を経営

猪目妙子さん

顔がずらりと並ぶ。猪目さんは「いいふるさと、いい同級生がいて自信を持ってお客さんを連れてこれた」と感激の再会を喜んだ。「一行は同級生が用意したマイクロバスで、龍門司焼窯元を見学、昼食は龍門司焼窯の里でとった。真新しい龍門司温泉の前に、猪目さんはふるさとの変わりように目を見張ったものの、懐かしい情緒豊かな風情をたっぷり味わい、落ち着いた様子をうかがわせた。その後、歓待してくれた同級生らに別れを告げ、次の観光地、種子島・屋久島へと飛び去った。

▼小料理屋「さくらじま」店の料理の材料は、すべて鹿児島から取り寄せている。観光案内はもちろん、ふるさとの味も鹿児島一点張りである。草の根大使としてがんばる、そんなママさんぶりをぜひ一度拝見したいものである。

その猪目さんが、ふるさとに思いをはせながら、店で客と鹿児島を語る姿がありありと目に浮かぶ。実は彼女にとっては、客とふるさとを語らうときが一番楽しいかもしれない……。

これで大丈夫!

吉原橋が完成



きれいで丈夫な橋です

日本山地区と町場の架け橋として、平成四年十月から工事中だった吉原橋が平成六年九月三十日に完成、県土木事務所への検査も十月に終了し、名実ともに利用できるようになりました。

従前の橋はだいぶ古くなっていましたが、日本山川河川改修事業に伴う架け替え工事が完成し、いつも吉原橋を利用していらっしゃる人たちは「これで台風や豪雨がきても大丈夫だ」と喜んでいました。

橋長38・9m、幅員10m(歩道2・5m)、工事費は約2億5千万円。

勲六等瑞宝章を授章

高田精二さん



おめでとうございます

本町にお住まいの高田精二さん(八十八歳)が勲六等瑞宝章を授章され十月六日、宇都宮町長から伝達されました。

高田さんは昭和二十六年五月、町議会議員に初当選以来、昭和三十八年四月までの三期連続十二年間にわたり、町行政と地域住民との橋渡し役として、地方自治の発展と住民福祉の向上に大きく貢献されました。

おめでとうございます。

おめでとう ございます 金婚式

(再掲・9/13日現在)



教育長と山下良子さん

最優秀賞に輝く!

両手に花の山下良子さん

県民文化祭テーマ募集

岩原西の山下良子さんが平成六年度県民文化祭テーマ募集で最優秀賞に輝き十月一日、篠原英熊加治木町教育長から賞状が伝達されました。

今回の応募には、県内から百十数点が寄せられ、最優秀賞に加治

木町の山下良子さん。優秀賞に同じく山下良子さんと、川野人志さん(中福良後)が選ばれました。おめでとうございます。

〔テーマ〕

ふれあい
大きく広がる 文化の芽

とこしえの夫婦の契りを交わし、晴れて満五十年を迎えた方々をお祝いする金婚式が九月十三日、福祉センターで開催されましたが、あらためてここに紹介いたします。

〔金婚式対象者・敬称略〕

- | | | | |
|-----------|------|-----------|-----|
| 川路正夫・ハツノ | 口ノ町 | 川床甫・ナツ | 下新道 |
| 日高丸矢・サチ | 札立 | 福田豊・秋江 | 新町 |
| 市来原盛正・ミチ子 | 札立 | 池崎政男・利子 | 蒲生田 |
| 向江松二・ハツ子 | 札立 | 尾上辰二・房子 | 西町 |
| 吉蘭清・キミ | 西反土後 | 神宮正信・ユキエ | 天神 |
| 小山正恵・キヨ子 | 西反土前 | 嶺元政範・ツル | 上浜 |
| 松永純蔵・キク | 田中 | 古川清春・ハツミ | 南塩入 |
| 諏訪國義・キクエ | 吉原 | 山下重美・良子 | 岩原西 |
| 原口清憲・マリ子 | 吉原 | 楠元正・スミエ | 岩原西 |
| 下小牧豊・トヨ | 小陣 | 小川虎男・文子 | 岩原西 |
| 岩崎正・シヅエ | 反土黒川 | 外村政男・こと系 | 岩原西 |
| 東川内末熊・妙子 | 放里 | 穂森保・ミツエ | 上木田 |
| 鮫島久・サダ子 | 於里 | 田原春國義・アヤ子 | 明神 |
| 神田貞豊・千鶴 | 柳田 | 大内山猛・ミツエ | 須崎 |
| 市来政秋・フミ | 柳田 | 大園重軌・サチエ | 高井田 |
| | | 中森光男・ヤエ | 隈原下 |
| | | 山下初・ノブ子 | 提水流 |
| | | 松尾静男・チエ子 | 里ノ下 |
| | | 蘭田良盛・静江 | 毛上 |
| | | 山口直矢・フミ子 | 赤谷 |
| | | 岩澤一・初子 | 西浦西 |
| | | 向江松雄・初江 | 鶴原 |

木田青壮年会

優良賞に輝く

県ふるさとづくり賞

県新生活運動の「第九回ふるさとづくり賞」で木田青壮年会が優良賞に輝き九月二十二日、篠原教育長から堀ノ内敏則会長に賞状と楯が伝達されました。

これは、木田青壮年会が木田地区に昔から伝わる馬踊りや太鼓踊り、お田植え祭などの伝統行事を一生けんめい継承していることが評価されたものです。
われわれは今、加治木に根づい

た生活をし、ふるさとを守るためにみんなそれなりに頑張っています。いや、守る義務があると云っていいでしょう。と言ってそれを苦にすることなく、逆に誇りをもって自分の心にやる気を奮い立たせる必要があります。ふるすとはみんな盛り返してましよう。
木田青壮年会のみなさん、おめでとうございました。これからますますなる活躍を期待します。

八人を表彰

町福祉大会

第十六回町福祉大会・スポーツ大会は九月十八日、町営体育館で老人クラブ・愛護会・保護司会・民生委員・母子寡婦会・身障協会の六つの福祉団体が参加して開催されました。

福祉大会では、宇都宮社会福祉

協議会会長が、永年にわたって社会福祉の発展に功績のあった方々を表彰して、その労をねぎらいました。
その後、団体を五つに分けてスポーツ大会を開催。みんなは自分に合った競技を選び、体育館狭しと走り回っていました。

〔被表彰者・敬称略〕

平田静哉(弥勒)▽三浦カズエ(弥勒)▽上枝チエ子(柳田)▽犬童初男(里ノ上)▽小倉トミ子(田中)▽幾留菊代(西諏訪)▽森田キクノ(中福良東)▽松田栄次(札立)



ゆっくりと走って……



これからもがんばって……



SFじゃっどチーム



ラガーチーム

スポーツの秋を堪能

老人クラブスポーツ大会

第五回町老人クラブ連合会主催のスポーツ大会は九月二十三日、役場グラウンドで行われました。
この日は、町内四十五単老の会員がおおぜい参加し、元気にスポーツの秋を味わっていました。

〔成績〕
優勝：加治木小地区▽二位：小山田地区▽三位：城東地区▽四位：錦江小地区・中央地区▽六位：城北・城西地区▽七位：西別府・辺川地区

男子優勝は水無月チーム

秋季バレーボール

町バレーボール協会秋季大会が九月十一日、十八日の両日、柅城小体育館と町営体育館で開催されました。

〔女子〕
Aクラス優勝：加治木クラブ▽二位：加治木友クラブ▽三位：柅城クラブ
Bクラス優勝：カトレアチーム▽二位：明日香チーム▽三位：ハッピーコスモチーム
加治木クラブとカトレアは全勝。

〔男子〕
優勝：水無月チーム▽二位：六四会チーム▽三位：さくらチーム・平成会チーム

Aクラス優勝 加治木ラガー

夏季ナイターソフト

夏季ナイターソフトボール大会は七月二十五日から九月八日の日程で、十二チームが参加して開催され、Aクラスは加治木ラガーチームが優勝しました。

〔Bクラス〕
優勝：SFじゃっど▽二位：せいしゅん▽三位：合序ファイターズ
※文化会館の建設により、新しく町営運動場につくられたナイター施設で実施。はじめてのナイター大会でした。

優勝：加治木ラガー▽二位：錦江クラブ▽三位：役場ソフト

アンさん大忙し

敬老の日



おやっとなあなあ……

国際交流員のアン・フイーランさんは「敬老の日」、西別府地区と垂ノ口自治会から招待され、大忙し。二つの会場を掛け持ち、みんなにさわやかな笑顔をふりまいていました。特に垂ノ口では、今の公民館が新築されることになっており、名残りを惜しもうとおおぜいの人が詰めかけていましたが、アンさんが「いつも、おやっとなあなあ」と覚えてたの鹿兒島弁であいさつすると、おじいちゃんおばあちゃんは大喜び。その後、アンさんはみんなの中に飛び込み、いろいろな話に花を咲かせていました。

役場を表敬訪問

十両入りした鶴ノ富士

大相撲秋場所で活躍して見事十両入りを果たした鶴ノ富士が九月二十九日、加治木町役場を表敬訪問しました。

福蘭改め・鶴ノ富士は隼人町出身ですが、元をたせば彼のお父さんは先の井筒親方（元鶴ヶ嶺）の弟で小山田生まれ。やはりその血は争えないのか、小山田魂にものをいわせ、「関取の座」をガッチリその手につかみ取りました。下楠蘭助役が「幕内をめざしてがんばってください」と激励する

と、関取は顔を引き締め「まずは十両定着をめざします」と十両を張ることの難しさをうかがわせ、その決意を顔にみなぎらせていました。その後、助役にサインをねだられると、一瞬その厳しい顔をゆるめ「まだ書いたことがないのですが……」と恥ずかしそうにマジックを走らせていました。十両昇進祝賀会と後援会発会式は十月三十日、隼人町の平安閣で開かれる予定。

がんばれ、鶴ノ富士！



さて、できあがりは……

十五夜の綱かき

隈原地区の子供会

仲秋の名月を前にした九月十四日の夜、隈原地区（隈原上、下、丸岡三自治会）の子供会では、地区公民館で親子で十五夜用の綱かきを行いました。

綱かきは、この地区に昔から伝わる伝統行事で、それを引き継いでいるのは地区の親子会（子供会 十一人）。みんなは庭の真ん中やぐらを組んで、各戸から集めたワラで築きそうに綱を編み上げていきました。「昔は公民館に泊まり込んでかいたものだが、このごろは子供の数も減って……」と長老の中森初男さん（七十二歳）はさみしそうでした。

図書館に本を寄贈

ローターアクトクラブ

町内の有志で組織されているローターアクトクラブ（美坂昌憲会長・会員二十三人）が九月二十八日、町立図書館に一万円相当の本

八冊を寄贈しました。これは、ローターアクトクラブがバザーの収益金で購入したものです。ありがとうございます。

大きな感動を

加治木町青少年劇場

「芸術の秋を味わおう」と町内の各小学校では九月の三日間、楽劇団いちよう座と人形劇団クラテールによる「加治木町青少年劇場」を開催しました。

ふだん、生の芸術に接することが少ない子どもたちは、優れた舞台を目の当たりにして、大きな感動とともに、芸術の世界への誘いに目を輝かせていました。



気力あふれる鶴ノ富士



本物の迫力は……

白尾國利さんが

天吹を演奏

文之和尚をしのぶ

入寂（死去）後、三百七十五回を数える文之和尚遠忌法要が九月三十日、五十人あまりの人が参加して安国寺で営われました。

文之和尚といえ、戦国末期から江戸初期にかけ、二十年近く加治木の安国寺に住まれ、深く薩摩の歴史に関わって政治や文教分野にその才を発揮、いろいろな功績を記した禅僧で、その墓は町内では唯一の国の重要文化財。

この日は、白尾春樹史談会長のあいさつの後、白尾國利さんが薩摩だけに伝わったという、笛の一種の「天吹」を演奏。その旋律は薩摩の激しくも物悲しい歴史を織りまぜて柔らかく包み込んでいます。聞く人もなぜかしんみりとした様子。文之和尚や島津義弘の御霊も、その音色にじつと耳をかたむけていたことでしょう。

うんめどが……

（おいしいだろうが……）

ヤル気満々の料理人たち

おじいちゃんの料理教室

「おじいちゃんの料理教室」は十月五日、保健センターで十六人の老人クラブ会員が参加して行われました。

この教室は、昭和六十三年から始まり、今年で七回目。これまで食べてばかりで、おばあちゃんの料理に何かと文句を言ってきたおじいちゃんたち。果たしてその腕前は……。

うれんそうのゴマあえ、けんちん汁、ごはん。それぞれ四つのグループに分かれると、みんなはシャツの裾をまくりヤル気満々。包丁片手に野菜や豆腐などをきざんできましたが、様になった恰好に思わず照れ笑い。食生活改善推進員の方の指導が効いたのか、終わってみればおいしいような料理が出来上がっていました。



しゅく然と聞き入る

みんなで遊ぼう

青少年ふるさと活動

このごろ、子どもたちが川原や原っぱで群れをなし、奇声をあげながら遊ぶ姿を見かけなくなりました。これを「時代の流れ」と一言で片づけることはできません。もちろん、時代の流れは激しく、何もかも飲み込んでいってしましますが、われわれには残すべき昔のいいものがあります。

昔の遊びは先輩らがリードし、そのなかで規律やあいさつなどを学んだものです。しかし今、ファミコンなどが影響しているのか、同じ年か少数でしか遊ばず、しかも家庭内が多いようです。

そこで町としては、毎月定期的な小・中学生の異年齢層集団による「自然体験活動」や「社会参加活動」などさまざまな青少年ふるさと活動を行っているところですが、夏休み明けの九月十七日、町営体育館でレクリエーションを開催しました。



みんな楽しく

この日は、一円玉つまみ競争や竹ころがし、風船わりなどに七十人あまりが参加しましたが、見知らぬ人と一緒に汗を流しても、すぐ友達になるのが子どもたち。みんなは時がたつのも忘れ、楽しいひとときを過ごしていました。

どうすればいいの……

かじき

秋

まつり

・11月20日
(日曜日)

・役場グラウンド

保健婦だより

骨粗鬆症を予防

しまししょう

女性に多いカルシウム不足

骨がスカスカに……

あなたの骨は健康ですか
高齢化社会を迎え、骨粗鬆症が一段と増えてきました。この病気は骨がスカスカになってもろくなり、背骨や腰が曲がりたり痛みんだり、ちよつとしたことで骨折してしまう病気です。

骨折のため寝たきりになってしまふと、ボケにつながりかねません。この病気は特に、閉経期を過ぎた女性に多いのが特徴。急速に女性ホルモンが少なくなるなどして、骨の中のカルシウムが急減するのが主な原因です。

四十代のうちから自分の骨の健康状態を知り、バランスのとれた食事や適度の運動などを心がけることが肝心です。骨は一旦できあがると、ずっと変化しないと思っ

ている人が多いのですが、実際は骨を作っている細胞は日々生まれ変わり、全身の骨は五年半ぐらいでそっくり入れ代わるといわれています。

カルシウム不足に

ならないために

パク質とリン酸カルシウムから成り立っていますが、ピルに例えると鉄骨がコラーゲン、カルシウムはコンクリート、この二つが合わさって頑丈な建物になるのです。

カルシウムをとるには乳製品が一番。カルシウムの吸収率は野菜が二割、小魚類が三割ですが、乳製品は五割で、そのうえ質のよいタンパク質、ビタミンAなどが含まれており、栄養のバランスには最適です。

四十七歳を過ぎた女性は、一日にコップ二杯の牛乳を飲むように心がけるのも丈夫な骨と若さを保つコツではないでしょうか。

骨量測定

現在、鹿児島日赤病院に相談中で、日程が決まり次第個人あてに通知します。希望される方は保健センターで随時受け付けますのでお申込みください。

対象者 40歳以上 70歳

10月から入院時の

患者負担が変わりました

— 医療保険制度の改正により —

入院時の食事についての負担額 (平成6年10月～平成8年9月)

1日につき600円

ただし、次の1及び2の場合には、それぞれ以下の金額に軽減されます。

1. 市町村民税非課税の世帯に属する方等で、負担額の減額認定を受けた場合…………… 1日 450円

上記に該当する人で

過去1年間の入院日数(平成6年10月1日以降のものに限る。)が90日を超えた場合…………… 1日 300円

2. 市町村民税非課税の世帯に属する方等で、老齢福祉年金を受給している場合…………… 1日 200円

11月行事予定(保健センター)

日	曜	行 事	受付時間	場 所	日	曜	行 事	受付時間	場 所
1	火	システム健診(40歳) (基本健診+胃検診)	7:30~8:30	保健センター	17	木	基本健診 母子健康相談	9:00~10:00 13:30~	辺川公民館 保健センター
2	水	システム健診 育児学級	7:30~8:30 13:30~	保健センター 〃	18	金	3か月児健診 婦人栄養教室	13:15~13:45 9:30~	保健センター 〃
4	金	システム健診	7:30~8:30	保健センター					
7	月	システム健診 健康相談	7:30~8:30 9:30~10:30	保健センター 辺川公民館					
8	火	システム健診 健康相談	7:30~8:30 10:00~15:00	保健センター 温泉	21	月	健康相談	10:00~11:00 9:30~11:00	みろく公民館 保健センター
9	水	システム健診 母親学級	7:30~8:30 13:30~	保健センター 〃	22	火	婦人栄養教室 1歳6か月児健診	9:30~ 13:15~13:45	保健センター 〃
10	木	システム健診 1・2歳児歯科事業	7:30~8:30 13:30~13:45	保健センター 〃					
11	金	システム健診 婦人栄養教室	7:30~8:30 9:30~	西別府 保健センター	24	木	健康相談 ポリオ・ワクチン投与	10:00~15:00	龍門滝温泉 町営体育館13:30~14:00 竜門小 13:30~13:45
13	日	1万歩ウォーク	9:00~		25	金	基本健診結果報告 ポリオ・ワクチン投与	13:15~13:30	10/26日分 町営体育館13:30~14:00 永原小 13:30~13:45
14	月	健康相談	9:30~11:00	保健センター	28	月	健康相談 献血	9:30~11:00 9:00~16:00	保健センター 〃
15	火	3種混合予防接種 ねたきり看護教室	13:30~14:00 9:15~9:30	町営体育館 保健センター	30	水	機能訓練	9:30~11:00	保健センター
16	水	機能訓練 母親学級	9:30~11:00 13:30~	保健センター 〃					

村山恵二さんら二十五人が

献血功労章を授与



県知事表彰

柁城小PTA

保健所長表彰

加治木ローター

アクトクラブ

このほど、愛の献血運動に協力

してくださった町内二十五人の方

に、日本赤十字鹿児島支部から

日本赤十字社長表彰(百回以上・

二人、鹿児島県赤十字血液センタ

ーから金色有功章(五十回以上・

七人)と銀色有功章(三十回以上・

十六人)の献血功労章がそれぞれ

贈られました。

また団体の部では、柁城小学校

PTAが県知事章、加治木ロータ

ーアクトクラブが保健所長章を授

与しました。

表彰された方々・敬称略

〔日本赤十字社長表彰〕

村山 恵二(小島)

杉田 雄一(須崎)

〔金色有功章〕

長谷川寛之(於里) ▼大川浩洋(空

港団地) ▼今村昌子(中央) ▼二

見和彦(赤坂) ▼大木洋子(吉原)

▼宮本一幸(萩原) ▼境田照久(下

〔銀色有功章〕

池江睦美(高井田) ▼今中美智子

(反土黒川) ▼大園親正(中央)

▼奥村龍一(札立) ▼佐々木健一

(原ノ門) ▼重留節子(竹下) ▼

鈴得美子(中塩入) ▼諏訪史孝(棚

目) ▼瀬戸口妙子(柳田) ▼田中

一男(吉原) ▼泊孝二(原ノ門)

▼外村智子(内原田) ▼南田楠男

(布越) ▼宮内鉄美(鶴原) ▼吉

野光一(春日団地) ▼脇田里美(中

央)

〔県知事章〕

加治木町立柁城小学校PTA

〔加治木保健所長章〕

加治木ローターアクトクラブ

かねてから献血事業の推進につ

いては、事業所や一般住民の方々

のあたたかいご協力をいただいで

います。あなたのやさしさが尊い

人の命を救っています。今後とも

献血にご協力をお願いします。

アンさんの英会話教室

BASIC ENGLISH INTRODUCTION (self introduction)

My name is Michiko Yamada and I am seventeen years old. I live on Kyushu, an island in the south of Japan, in a town called Kajiki, which is in Kagoshima Prefecture. In the south of Japan the scenery is very spectacular.

Kajiki is a small harbour town, surrounded on three sides by mountains, and facing Kinko bay. Sometimes the active volcano Mt. Sakurajima rains ash on the town but thanks to the seasonal winds this happens quite rarely.

Unlike the north of Japan where it snows during the winter months, Kajiki as it is located on Kyushu has mild weather all year round and has a hot and humid summer.

Until just a while ago I used to really like baseball and my favourite team was the Hanshin Tigers. Recently however soccer has become really popular in Japan and young people like me really like it. My favourite team is from Nagoya and they are called "Grampas 8". I watch all their matches on T.V. and I collect stickers and posters of the team members. My friends like Verdi Kawasaki but I don't think they are very good.

At the moment, I'm on summer holidays. Every day I can watch lots of T.V. and do as I like. Next month school is starting and though I enjoy it, I have to work very hard so I'm not looking forward to it. Also the entrance exams for universities are very difficult and the level of competition is very high.

If I enter university, I'd like to major in history. I've been interested from childhood, not only in the history of Japan but also that of other Asian countries. I'd also like to be able to speak English. Then I would be able to make friends with people from other countries.

基本的な英語自己紹介

山田道子といいます。17歳です。日本の南に位置する九州という島にある鹿児島県加治木町に住んでいます。加治木町は、南国でとても景色の素晴らしいところです。

加治木は小さな港町で、三方を小高い山に囲まれ、前方に錦江湾の海原を抱えた小さな町です。そこに浮かぶ活火山の桜島は時々灰を雨のように降らせていますが、季節風のおかげで加治木町にはあまり降りません。

日本の北の方では雪がよく降りますが、幸い加治木町は九州でも南にあるために一年中暖かく、そのため夏の間は蒸し暑い日が多くなります。

私は少し前まで野球が大好きで、一番好きなチームは阪神タイガースでした。けれども、最近サッカーが流行りだし、私たち若者には大変人気が高くなっています。一番好きなチームは、名古屋にある“グランパス8”です。テレビで全ての試合を見て、チームのメンバーのステッカーやポスターを集めています。友だちはヴェルディ川崎が好きなのですが、私はあまり好きになれません。

今、私は夏休みの最中で、一日中テレビを見たりして、自分のやりたいことをしています。しかし来月から学校が始まり、これから一生懸命勉強しなければならないと思うと、あまり楽しくありません。それに、大学の入学試験がとてもむずかしく、競争のレベルがとても高いということです。

もし大学に合格したら、歴史を専攻したいと思っています。私は小さいころから日本だけでなく、アジア諸国の歴史にも興味を持っていたのです。それに、英語も話せるようになりたいと思っています。そうしたら、いろいろな国から来ている人たちと友だちになることができると、今から楽しみにしているところです。

椋鳩十先生のふるさと

喬木村研修報告

八月下旬、長野県喬木村を研修させていただきました。メンバーは土田眞資副館長以下八名。名古屋から高速バスで飯田に走り、天竜川下りも楽しんで遠山郷へ。星野屋の片町女史は熱心な棕ファン、鹿・猪・熊の料理をふるまいながら、在りし日の思い出話をしみじみと語ってくださいました。

「信州信濃の山奥の、そのまま奥の一軒屋」に泊り、翌朝、天を仰ぎ見るようにして眺めた伊那谷の風景、溪流のせせらぎが聞こえてきました。山道を駆けながら喬木村立椋鳩十記念図書館に無事到着、市瀬尚夫館長を中心に待機しておられました。賜正和村長のお話では「ふるさと創生事業」に関するアンケート調査で、児童文学者椋鳩十顕彰の希望がトップを占め、心豊かな人づくり、文化の香る村づくりを求める声が多く寄せられたため、「椋文学の里づくり」事業として先ず図書館を建て、各種のソフト事業にも積極的に取り組んでこられた由、村民あげて「椋鳩十の世界」を大切にしておられる姿勢がうかがわれます。記念室の内部にもハイジの

夕日が射している感じでした。「椋文学ふれ愛散策路」の途中にある曙月庵(陣屋御殿茶屋)で一服後、安養寺・知久家廟所を通り、生家跡の隣に眠る椋先生の墓前で合掌、久保田みと子夫人直筆になる「松風よ吹け」の詩碑も拝んできました。母校横の赤松林から吹込んでくる風を感じ、記念館に戻り、さらに歴史民俗資料館へと案内されました。至れり尽せりでした。動物と自然の語り部・椋鳩十先生が生まれ育った喬木村は、豊かな文化遺産を継承しながら、今、生涯学習を通じて全国交流が盛んです。年末の第七回夕やけ忌には、鹿児島島の畠野洋子先生が講演されるそうです。

三日目は飯田市、柳田國雄館で「伊那民俗研究」に私は魅せられました。「人が自らを見出すための学問」民俗学、それは椋文学の世界にも相通するものがあると感じとったのです。加治木の記念館でも全国向けの児童文学研究誌を定期刊行できたらなあと思うことでした。

加治木が「教育の町」といわれる理由のひとつに、明治二十年〜三十年頃に開設された「有為舎」「郁文館」「青雲舎」という独特の子弟教育の組織がありました。これらは、藩制時代に行われた青少年のためのしつけや学問の機会を与える「郷中制度」といわれる制度の影響を

(椋鳩十文学記念館 専門委員 二見剛史)

加治木文化財ウォッチング

加治木の郷中教育

加治木の郷中教育といってももちろん薩摩全体の制度に習ったもので、次のようなきまりがありました。

- 一、いつも武道に励むこと
- 一、女性と付き合わないこと
- 一、いつも足と腰を鍛えておくこと
- 一、殿様や親を大切にすること
- 一、自分の意見を押し通すときは命がけでやること
- 一、全員が納得するまで話し合うこと

二歳や稚児たちは、一日の仕事が終わると、それぞれの郷中の二歳頭の家を集まって一日の反省会を開き、きまりを守らないものはきびしく罰せられました。そのなかでも、「郷中放し(絶交)」は武士として一番の恥といわれ「いいわけ」や「ごまかし」はぜつたいに許されませんでした。「負けるな」「うそを言うな」「弱いものいじめをするな」と教えられ、「泣きよかひつ飛べ(思い切つてやれ)」という言葉も生まれ、この言葉をかみしめながら心身を鍛えていったのです。

- 一、絶対におそをつかないこと
 - 一、先輩を尊敬し幼いものをいたわること
- これらのきまりはずっと藩内の二歳(青年)や稚児(少年)たちに受け伝えられ、やがて造士館(藩校)や演武館(武道場)

加治木でもこのように人格形成の基本的な事が、若年期に年齢の異なる集団の中で、薩摩独特の青少年教育としてきびしくしつけられて、伝統となつたのです。

(参考 加治木風土記)



喬木村・夕陽の碑前にて

カギかけは家族みんなの合言葉



親子映画鑑賞会

(福祉センター)

日時 11月12日(14時)

映画 ①がんばれスイミー

②はやて

(椋鳩十文学記館自由の館)

日時 11月27日(10時)

映画 ①ジャックとまめの木

②知りたがりやのトラ

主催 加治木町親子映画会

※無料ですので児童・生徒・親子多数ご鑑賞ください。

(都合によりフィルムを変更することがあります。)



うぶ声



出生児

壹岐 彩夏

重明佳里

池田 昌平

樗木 詩織

園田 洸太

和田みなみ

久木田珠真

菊池 里奈

上脇 夏実

今西 友哉

蛭川 翼

紀野七菜実

小濱 陸

大村 和真

楠木 竜也

保護者

昌弘

成彦

仁

久男

慎一

光友

進一

教史

学

隆幸

宗幸

義郎

剛

仁志

竜一

自治会

小鳥

田中

反土黒川

天神

天坂

赤坂

中福良後

明神

上浜

岩原西

田中

楠園

上木田

西反土後

萩原

南塩入

無料 人権法律相談

鹿児島地方方法務局加治木支局のほか、次の人権擁護委員の方々が、自宅でも御相談に応じています。

お気軽に御相談下さい。

秘密は、固く守られます。

郡山政弘 木田一六一三一

中摩多美子 反土二七五六

篠崎利治 木田四二四二

電話 63-5175

御寄付

町社会福祉協議会へ

香典返しのかわりに御寄付をいただきました。厚く御礼申し上げますとともに、故人のごめい福をお祈りいたします。(内は故人)

岩崎建史朗 一男
岩切栄太郎 萩原
宗方 翼 香作
石原 征直 哲郎
坂下 皓祐 増明
田畑 陽平 晃英
岩澤 美海 和徳
松元 夏弥 浩幸
阿久根 陸 淳
小湊 峻平 祐治
福壽 望幸 雅祥
植木 里佳 秀春
城ヶ峰由花 伸弥
東 昇学 健二
森木 優太 博和
肝付 賢太 俊夫
岩爪 雅博 今町
▽九月二十日までに住民台帳に記載された分を掲載いたしました。

平成6年 11月 在宅医表

3	川畑内科	内科・小児科 加治木町錦江町234 ☎63-1499
6	松本外科	外科・胃腸科 加治木町木田724 ☎63-1911
13	鬼丸小児科	小児科 加治木町新生町127 ☎62-0308
20	大井病院	外科・内科 加治木町本町141 ☎63-2291
23	玉利医院	内科・皮膚科 加治木町本町118 ☎62-2328
27	加治木整形外科	整形外科・理学療法科 加治木町港町147-2 ☎62-3711
※ 診療時間は午前9時から午後5時まで。(原則として) ※ 当日の往診ならびに緊急以外の受診は御遠慮ください。		
日曜・祝日 歯科救急診療 10時~15時 郡歯科医師会館 口腔保健センター (0995-58-4388・溝辺町空港近く)		

(母鍋 カオセ)

天 神 貴島義徳(姉アツ子セ) 三万円
町育英奨学資金へ

東塩入 大迫攻一郎(母ヒサ八三) 三万円
町身体障害者福祉協議会へ

三万円

東塩入 大迫攻一郎(母ヒサ八三) 三万円

記事訂正とおわび

9月号の記事中誤りがありました。深くおわびし訂正します。(敬称略)

4ページ「ご寄付」中

西元榮一→四元榮一

10ページ「かじつガラス」中

二回目の空襲は

八月十二日 ↓ 十一日